

報道関係各位

2025年8月5日

住友不動産株式会社
住友不動産ステップ株式会社

《2025年7月22日、東京ガーデンシアターで開催》

『第120回サマーステップコンサート』 ～ファンタスティック！ミュージカル＆クラシック～ 5,000名様を無料でご招待し、大盛況のうちに閉幕！

- ◆「介助犬育成・普及のための募金」を日本介助犬協会に寄託
- ◆体験格差解消に取り組む「こども冒険バンク」へ体験枠を提供

住友不動産グループは、7月22日（火）に家族そろって楽しめるコンサート『第120回サマーステップコンサート』を、東京ガーデンシアター（東京都江東区有明）にて開催いたしましたのでお知らせいたします。

本公演は、“芸術・文化に触れ合う機会の創出”を目的に、本格的なクラシックコンサートを誰もが一緒に楽しむことができるよう、全席無料でご招待するクラシックコンサートです。当社グループは、社会貢献活動の一環として、今後も様々な文化・芸術活動の支援・発信を通じて、より一層、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。



『第120回サマーステップコンサート ～ファンタスティック！ミュージカル＆クラシック～』の様子

■人気ミュージカルの楽曲を歌とオーケストラでお届け

今回は、ミュージカルをはじめテレビドラマ出演など幅広い活躍を見せる女優の小南満佑子氏と、ヴォーカル・グループ「LE VELVETS」のメンバー（テノールを担当）である佐藤隆紀氏を迎えて「アラジン」から“フレンド・ライク・ミー”“ホール・ニュー・ワールド”、「リトル・マーメイド」から“パート・オブ・ユア・ワールド”、「オペラ座の怪人」から“オール・アイ・アスク・オブ・ユー”などを披露。加えて、歌劇「ウィリアム・テル」序曲や「アルルの女」から“ファランドール”といったクラシックの名曲を、指揮は三ツ橋敬子氏、管弦楽は東京フィルハーモニー交響楽団の演奏でお届けしました。

《ステップコンサートとは》

「ステップコンサート」は、住友不動産グループの社会貢献活動の一環として、1987年の第1回開催以来、35年超の歴史を誇るコンサートです。“家族そろって楽しめるコンサート”をテーマに、毎回国内外で活躍の指揮者や演奏家、オーケストラを迎え、これまでに多くのお客様を無料でご招待。児童福祉向上のために特に優れたコンサートであるとの評価から、1996年より「厚生労働省 社会保障審議会特別推薦 児童福祉文化財」に指定されています。

『第120回サマーステップコンサート ～ファンタスティック！ミュージカル＆クラシック～』開催概要

開催日時	2025年7月22日（火） 開演 18:30
会場	東京ガーデンシアター 〒135-0063 東京都江東区有明2-1-6
出演者	ヴォーカル／小南 満佑子、佐藤 隆紀（LE VELVETS）、指揮／三ツ橋 敬子、 管弦楽／東京フィルハーモニー交響楽団、司会／塚本 江里子
プログラム	ロッシーニ／歌劇「ウィリアム・テル」序曲から“スイス軍の行進” グノー／歌劇「ロミオとジュリエット」から“私は夢に生きたい” デンツァ／フニクリ・フニクラ 渡辺俊幸／おひさま～大切なあなたへ～ 谷村新司／昴 -すばる- メンケン／「アラジン」から“フレンド・ライク・ミー” “ホール・ニュー・ワールド” ビゼー／歌劇「カルメン」から“前奏曲（闘牛士）” メンケン／「リトル・マーメイド」から“パート・オブ・ユア・ワールド” ロイド＝ウェバー／「オペラ座の怪人」から“オール・アイ・アスク・オブ・ユー” ビゼー／「アルルの女」第2組曲 “ファランドール”
招待者数	5,000名（無料／全席ご招待）
主催者	住友不動産グループ

■「介助犬育成・普及のための募金」を日本介助犬協会に寄託

ステップコンサートでは、1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災から義援金活動をはじめ、2004年以降、社会福祉活動のため「介助犬の育成・普及」に少しでもお役に立ちたいと会場で募金活動を行っております。

今回も、会場にて「介助犬育成・普及のための募金」の受付を行い、ご来場者様より、合計で437,605円の募金が寄せられました。お預りした募金は『社会福祉法人 日本介助犬協会』に寄付し、介助犬の育成・普及のために活用されます。

ご来場のお客様の温かいご協力に感謝致しますとともにご報告申し上げます。

また、1995年の募金開始からこれまでに累計で1,990万円を寄付しております。



介助犬訓練／携帯を探して持ってくる様子
（提供：社会福祉法人日本介助犬協会）

■体験格差解消に取り組む「こども冒険バンク」へ体験枠を提供

認定NPO法人フローレンスが運営する「こども冒険バンク」は、家庭の事情など、さまざまな理由から学校外の体験活動が不足している子どもたちの体験格差解消を目指し、企業などが無料で提供する体験コンテンツを自由に選び申し込みできるプラットフォーム事業です。

今般、当社グループは「こども冒険バンク」冒険パートナーに登録し、『第120回サマーステップコンサート』へのご招待を体験として提供いたしました。



「こども冒険バンク」キービジュアル
（提供：認定NPO法人フローレンス）

■公演の様子



東京フィルハーモニー交響楽団の本格的なクラシック演奏



指揮 ミツ橋敬子さんによる楽器紹介コーナー



ヴォーカルの小南満佑子さん、佐藤隆紀さん(LE VELVETS) による歌唱

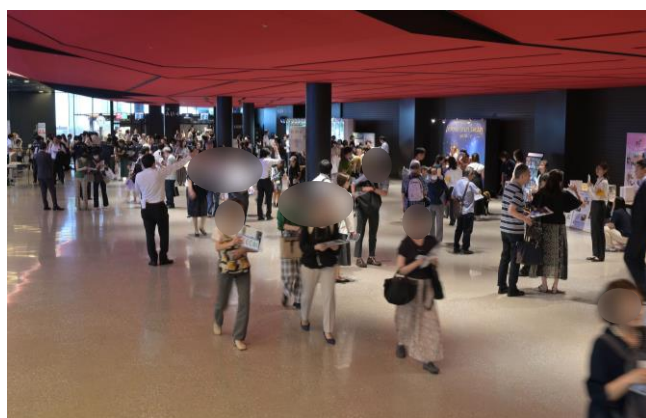


来場者による指揮者体験コーナー

■会場の様子



アトリウムデッキ前(開場前)



会場内ホワイエ(開場後)



介助犬育成のための募金活動



フотスポットパネルでの記念撮影

■『花王国際こども環境絵画コンテスト』受賞作品の展示

花王株式会社の「世界のこどもたちが“地球の環境・未来への想い”を込めて表現した作品を募集し、受賞作品の展示会を行うことで、世界中の人々の心を動かし、サステナブルなライフスタイルを実践するきっかけとなることを願う」という本コンテストの想いに賛同し、受賞したおよそ40作品をコンサート会場内で展示いたしました。会場内がカラフルな作品で彩られ、多くのご来場のお客様の目を引きました。

世界のこどもたちの豊かな想像力で描き出された作品に触れ、想いを知ること、来場者の心を動かすきっかけとなることを願っております。



展示の様子



お客様が展示をご覧になる様子

(参考) 東京屈指の劇場型※イベントホール「東京ガーデンシアター」

当社グループが運営する複合街区「有明ガーデン」内の劇場型ホール「東京ガーデンシアター」は、都心近接かつ羽田や東京、品川からもアクセス至便な好立地に位置します。同ホールは最大収容人数約8,000人を誇り、大迫力のライブイベントから、国際会議まで対応可能とする、4層の客席フロアからなる東京屈指の劇場型※イベントホールです。ステージから最も離れた席でも約54mの離隔距離となり、どの席からでもステージが見やすい立体的な構造としているため、他の同規模ホールと比べ、よりアーティストと近く、臨場感と迫力のあるライブをお楽しみいただけます。



東京ガーデンシアター 外観

※観客席が四方から取り囲むアリーナ形式と区別し、オペラ劇場などに見られるステージと客席が向かい合うエンドステージ形式で、観客の見易さ、音響効果に配慮した設計であること、さらに演劇場で見られるプロセニウム(額縁)を、保有する幕で作ることができることから。

※本リリースに関する取り組みは、以下のSDGs目標に貢献しています。



目標3 すべての人に健康と福祉を
目標4 質の高い教育をみんなに
目標17 パートナリシップで目標を達成しよう

当社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

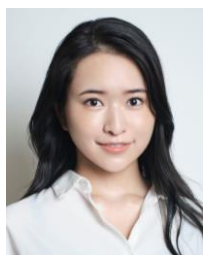
＜弊社のESG、SDGsに関する取り組み＞

<https://www.sumitomo-rd.co.jp/sustainability/sdgs.html>

＜本件に関する報道関係者お問い合わせ先＞

住友不動産株式会社 広報部 TEL:03-3346-1042

出演者のプロフィール

◆ヴォーカル／小南 満佑子 *Mayuko Kominami*

兵庫県西宮市出身。4歳からダンスを、10歳から声楽を始める。2015年、第6回ジュリアード音楽院声楽オーディションにて最優秀賞受賞。同年、「レ・ミゼラブル」にてミュージカルデビュー。その後東京音楽大学音楽学部声楽専攻を卒業。2020年にNHK連続テレビ小説「エール」でヒロインのライバルを演じ話題に。主な舞台での出演作品に「Endless SHOCK」「ラ・カージュ・オ・フォール 籠の中の道化たち」「キングアーサー」「ヴァグラント」「ラブ・ネバー・ダイ」漫才ミュージカル「なにわシーサー's」など。

◆ヴォーカル／佐藤 隆紀 (LE VELVETS) *Takanori Sato*

福島県喜多市出身。国立音楽大学声楽専修卒業。重厚感と迫力のある歌声でクラシックのみならず、様々なジャンルの音楽を独自の世界で創り上げているヴォーカル・グループ「LE VELVETS」のメンバーとして活躍。ソロとしても、ホールコンサートを開催するほか、ミュージカル俳優としてもグランドミュージカル作品を中心に活躍の場を広げている。2025年「レ・ミゼラブル」に3期連続で主演ジャン・バルジャン役として出演。2026年春には新演出版「ジキル&ハイド」にジキル&ハイド役での出演が決定。今年10月からは、LE VELVETSコンサートツアー 2025「The Rising Voices」を開催する。



©Earl Ross

◆指揮／三ツ橋 敬子 *Keiko Mitsuhashi*

東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とキジアーナ音楽院に留学。小澤征爾、小林研一郎、ジェルメッティ、アツツェル、シュナイト、湯浅勇治、松尾葉子、高階正光の各氏に師事。第10回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールにて日本人として初優勝。併せて聴衆賞、ペドロッチ協会賞を受賞し、最年少優勝で初の3冠に輝く。第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールで女性初の受賞者として準優勝。第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2009年Newsweek Japan誌「世界が尊敬する日本人100人」に選出。N響、読響、東京フィルをはじめ国内主要オーケストラとの共演を重ねる。趣味はクルーズ。一級小型船舶操縦士として航海に出ている。



©Takafumi Ueno

◆管弦楽／東京フィルハーモニー交響楽団 *Tokyo Philharmonic Orchestra*

1911年創立。日本のオーケストラとして最古の歴史をもち、メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バットイストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏で高水準の演奏活動を展開。また、海外公演も積極的に行い、国内外から高い注目を集めている。1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を、愛知県刈谷市と連携協定を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。



©Ayane Shindo

◆司会／塚本 江里子 *Eriko Tsukamoto*

東京藝術大学声楽科、同大学院オペラ科修了。子ども向け番組「ポンキッキーズ」第11代目うたのおねえさんを務める。子どもの歌から、オペラ、ミュージカル、司会、ボディパーカッション等、多彩な表現で音楽交流を実践する。また、東京文化会館ワークショップリーダーとして音楽ワークショップを制作し、日本やポルトガルで公演。論語指導士としても活動し、子どもたちに音楽の楽しさと学ぶ喜びを伝えている。鹿児島女子短期大学児童教育学科特任講師。音楽ワークショップ「ミーゴのまほう」をYouTubeで配信中。